

第2 知事戦略

第 2 知 事 戦 略

知事戦略部は、「新・群馬」の創造に向けた取組の司令塔として、政策立案や情報発信、デジタルトランスフォーメーションの推進、業務プロセスの改革、トップ外交などを戦略的・機動的に実施するため令和2年度に設置された。

令和3年度は、「新・群馬県総合計画」を県内外に向けて発信するとともに、新たな時代を切り拓く「始動人」を育成するため「教育イノベーション」を進めたほか、次の重点施策等に取り組んだ。

【令和3年度に実施した重点施策及び主な取組】

1 政策立案・検証

- ・新・群馬県総合計画の普及啓発
- ・教育イノベーションの推進
- ・官民共創コミュニティの育成

2 戦略的な情報発信

- ・ぐんまちゃんのブランド力強化
- ・動画・放送スタジオ「tsulunos」の運営・活用

3 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ・ぐんまDX加速化プログラム策定
- ・官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用

4 業務プロセス改革の推進

- ・行政改革の推進（行政手続のオンライン化等）
- ・デジタル基盤整備

5 戦略的な地域外交

- ・オンラインを活用したトップ外交、国際交流イベントの実施
- ・上海事務所運営

1 知事戦略管理費

(1) 庁議

知事、副知事、各部局長等で構成する「庁議」を開催し、県の重要施策についての協議や情報共有を行った。

開催回数	付議件数
37回	77件

(2) 総務調整費

決算額 7,897 千円

部内共通経費や年度途中で機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区分	金額
主管課運営費（主管課経費）	2,396千円
部局調整費（赴任旅費等）	5,501

(3) 社会参加費

決算額 4 千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聴いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体の会合出席に伴う会費等の支出を行った。

所属数	金額
知事戦略部1課	4千円

(4) 政策調査

決算額 1,444 千円

職員の政策立案能力やプレゼンテーション能力の向上に資するため、政策プレゼンを実施。各部局及び一般職員から10テーマの提案があり、そのうち7テーマが令和4年度当初予算において事業化された。

また、政策プレゼンの実施や新規政策の検討のため各部局が行う調査研究について、「政策プレゼン調査研究費」により予算面の支援を行った。

対象調査研究数	金額
2件	417千円

(5) 戦略企画推進

決算額 2,599 千円

県の施策に係る全庁的な調整・情報共有のため、各部局主管課長、各行政県税事務所長等を構成員とする「庁内連携ブリーフィング」を開催した（開催回数10回）。

(6) 連携推進

決算額 55,536 千円

① 各種知事会議

各種知事会議の場において、本県の考え方や政策を発信するとともに、近隣県との連携並びに国への要望活動を実施した。

会議名	開催状況
全国知事会議	<ul style="list-style-type: none"> ・2回(6月、11月)開催 ※6月はWeb開催 ・令和4年度税財政に関する提案や国施策予算への要望などを決議
関東地方知事会議	<ul style="list-style-type: none"> ・2回(5月、10月)開催 ※5月は書面、10月はWeb開催 ・本県発議「豚熱感染拡大防止対策に係る野生イノシシ対策について」等全24項目の国への要望を決議

② 教育イノベーション・プロジェクト

ア STEAM教育推進PJ

STEAM教育の推進に向け、県立高校のモデル校において、STEAM教育を取り入れ、地域資源等を活用した探究型プログラムを実施した。

- ・モデル高校 県立4高校(伊勢崎興陽、吾妻中央、嬭恋、長野原)

イ 自由な発想育成PJ

地元ぐんまに誇りを持ち、突出した才能・アイデアを持つ“将来の始動人”を輩出することを目的とした地域課題解決型の教育プログラム「始動人 Jr. キャンプ」及びオンラインライブイベント「始動人 Jr. フューチャーセッション」を実施した。

- ・プログラム日数7日間(参加者19人)
- ・オンラインイベント(ライブ視聴者664人)

ウ 大学連携による産業人材育成PJ

本県の主力産業である自動車関連産業の発展に向けて、デジタル等に関する知識と技能をもって、新たな価値を生み出し、同産業の未来を牽引する人材を育成するため、県内産学官の連携による公開講座を実施した。

また、未来の社会を牽引するクリエイティブな人材を輩出すべく、小中学生を対象として、モビリティを題材とした体験型の人材育成事業を実施した。

区分	開催実績等
学生向け公開講座	<ul style="list-style-type: none"> ・全7回の自動車関連産業における産業人材育成講座 ・参加者数延べ99人
小中学生向け体験型人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フューチャースカイセッション 参加者22人 ・ぐんま未来のモビリティ教室(全3回)参加者21人

エ ICTリテラシー向上PJ

令和2年度に作成した動画教材について、県内の公立小学校の18.2%、公立中学校の23.5%で活用した。

さらに、児童生徒のICTリテラシー向上を図るため、学校現場で活用可能な、自分で選んだ選択肢により結末が変わるマルチエンディングタイプの体験型Web教材を作成した。

オ グローバル始動人育成PJ

県内学生が世界に目を向けるきっかけを作るとともに、世界を切り拓くことができる「グローバル始動人」育成の機運醸成につなげるため、セミナー、フォーラム、プレゼンコンテストを開催した。

また、県内外の高校生を対象に、リベラルアーツ教育を再現した1週間のオンラインプログラムを実施した。

区分	参加者数等
セミナー3回、フォーラム1回、プレゼンコンテスト1回	参加者計183人 動画視聴数計12,674回
リベラルアーツ教育を再現した1週間のオンラインプログラム（令和3年8月14～20日実施）	参加者計26人 （うち県内生16人）

③ 寺子屋・自我作古開催支援

職員の政策立案能力の向上及び多様な主体との協力関係の構築を目的とした自主勉強会（寺子屋・自我作古）の開催を支援した。

・開催支援回数9回（参加者数延べ209人）

④ 公立大学法人等評価

群馬県公立大学法人の中期計画等を審議するための評価委員会を開催した。

(7) 未来創生

決算額 53,679千円

① 総合計画・総合戦略

ア 総合計画

本県の目指す姿、ビジョンを県民のみなさんと共有し、共に考え、「自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会」を一緒に作っていくため、幅広い世代に向けた普及啓発を実施した。

・取組事項：未来構想フォーラム、官民共創コミュニティ、大学等での講義、ポータルサイト、ダイジェスト版（日本語・英語）、紹介動画

イ 総合戦略

第2期群馬県版総合戦略について、評価検証に係る有識者会議を開催し、外部有識者の意見を踏まえ、評価検証結果を報告書としてまとめた。

② ふるさと納税推進

ア ぐんまふるさと納税（個人版ふるさと納税）

具体的な政策メニューを提示するなど工夫を行い、施策に賛同いただいた多くの方から寄附を受け入れた。さらなる寄附の確保に向け、令和3年度に上州地鶏や体験型返礼品など返礼品の大幅な見直しを実施した。

（令和3年度寄附受入実績：822件、20,527,011円）

イ 企業版ふるさと納税

本県が行う地方創生の取組に対し、賛同いただいた幅広い企業から寄附を受け入れた。

（令和3年度寄附受入実績：23件、62,254,434円）

③ 地方創生関係交付金

地方創生関係の交付金について、県が実施する事業の庁内調整、県及び市町村申請のとりまとめ等、事務手続きを行った。

区 分	実 績（国費ベース）
地方創生推進交付金	23事業 632,455,471円
地方創生拠点整備交付金	2事業 58,534,744円

④ 官民共創コミュニティ育成

地域の課題解決や新たな価値の創出の場となる官民共創コミュニティを育成するため、市町村と連携し、ファシリテーターの養成研修や地域別のワークショップを開催した。

区 分	開催状況	参加者
ファシリテーター養成研修	4回開催 (7月、10月、11月、2月)	県職員 33人 市町村職員 36 (26市町村)
地域別ワークショップ	9回開催 (甘楽富岡、利根沼田、桐生みどりの各地域ごとに3回)	甘楽富岡 50人 利根沼田 44 桐生みどり 49

⑤ 湯けむりフォーラム

新しいアイデアやイノベーションを創出するため、有識者による最先端の議論やエンターテインメント等のイベントの開催やコンテンツの配信を行った。

区 分	制作実績
動 画	35本(※)
テ キ ス ト	19
イ ベ ン ト 等	30

※R3に配信した動画の総再生回数は117,947回（令和4年6月30日現在）

※これまで配信した動画の総再生回数は189,892回（令和4年6月30日現在）

⑥ 奨学金返還支援

若者の県内就職を促進し、県内定着を図るため、令和2年度に創設した従業員の奨学金返還支援を行う中小企業等を支援する補助制度について、令和3年度は3社（6名）に対して補助を行った。

(8) データ分析・活用推進

決算額 5,479 千円

① 幸福度レポート公表及びアンケート調査実施

県政の最大目標である「県民幸福度の向上」に向け、幸福度を「見える化」し政策の方向性を示すことを目的に「令和3年度群馬県幸福度レポート」を公表した。さらに、令和4年度の幸福度レポートへの活用に向け、県民の主観的な幸福感を把握するため、「県民幸福度アンケート」を実施した。

② ビッグデータ分析

携帯電話の位置情報データを活用し、人流分析・来訪者居住地分析を実施。主に新型コロナウイルス感染症対策のエビデンス（人流増減のデータ把握等）として活用した。

(9) 東京事務所運営

決算額 25,260 千円

県と中央省庁、国会、県人会等をつなぎ、各都道府県、知事会等との連携を推進する在京の窓口として、県政運営に有益な情報の収集、県政情報の発信を行った（国の予算情報の収集、県人会を通じたふるさと納税の周知やぐんま暮らしの魅力発信など）。

・各部局と連携し、中央省庁、国会等への要望活動を実施した（計79件）。

2 メディアプロモーション費

(1) メディア戦略推進

決算額 11,597 千円

① ぐんま応援びと

SNSで本県の魅力発信を行っている県民による、草の根的な発信を推進する事業として、4つのテーマで写真や動画の投稿コンテストを実施した。

・テーマ及び投稿数等

回	テ	マ	期	間	投	稿	数
第1回（通年）	ぐんまの風景・食べもの		令和3年4月28日		16,764	件	
			～令和4年1月31日				
第2回（短期）	ぐんまの公園・庭園		令和3年7月15日		73		
			～8月31日				
第3回（短期）	愛郷ぐんま		令和3年11月1日		1,858		
			～12月31日				
第4回（短期）	ぐんまの冬春		令和4年2月10日		667		
			～3月10日				

・フォロワー数等実績

区 分	内 容
表彰者総計フォロワー数	25,710 人
県 SNS フォロワー数	13,462
庁内の投稿写真等の二次利用	4 回

② デザインマネジメントチームの設置

会計年度任用職員 1 名をイラスト動画デザイナーとして配置し、庁内のチラシ・ポスター等の広報物に係る相談やデザイン支援を実施した。

・庁内制作等の受付件数 137 件

(2)コンテンツ推進

決算額 298,153 千円

群馬県のイメージアップを進めるため、「全力疾走 366 プラン」及び「新・群馬県総合計画（ビジョン）」に基づき、庁内関係各課と連携して事業を推進した。また、本県のマスコット「ぐんまちゃん」を世界から認知されるキャラクターとするために、世代、言語の壁を克服できる動画コンテンツ製作を行った。

① ぐんまちゃんキャラバン隊

ぐんまちゃんを隊長とした「ぐんまちゃんキャラバン隊」がイベントや県内幼稚園等を訪問して、群馬県の PR や子ども達の郷土愛の育成、県民プライド醸成に取り組んだ

・出動回数：198 回（内訳：イベント等 31 回、幼稚園等：108 回、動画撮影等：59 回）

② アニメ製作

ぐんまちゃんのブランド力を強化して国内外にプロモーションする起爆剤として、アニメーションの製作、テレビ放送、動画配信を展開した。

・製作実績

区 分	内 容
制 作 話 数	全 39 話（1 話約 7 分） ※令和 2 年度：12 話、令和 3 年度：27 話を製作
監 督	本郷みつる （「クレヨンしんちゃん」「キョロちゃん」など実績多数）

・テレビ放送

区 分	内 容
放 送 期 間	令和 3 年 10 月～12 月 30 分番組として全 13 回放送
放 送 局	全 8 局 関東・・・群馬テレビ、TOKYO MX、tvk、テレ玉、チバテレ、 栃木テレビ 関西・・・サンテレビ、KBS 京都

区 分	内 容
視 聴 率	平均 1.41% (推計値) ※東芝テレビ (REGZA) の視聴データから推計 調査対象：群馬テレビ 調査台数：群馬県内 約 3 万台 調査期間：令和 3 年 10 月～12 月

・動画配信

区 分	内 容
配信サービス	22 サービス (dtv、アニメタイムズ、hulu、FOD ほか)

③ 公式グッズ制作

県として初めてぐんまちゃん公式グッズを制作・販売した。

区 分	内 容
ぬいぐるみ	種類：ぐんまちゃん、あおま、みーみ 数量：各 1,200 個 (うち 1,100 個を販売)
LINE スタンプ	原作者描き下ろしイラストを使用し、3 セット制作・販売
音 楽 C D	ぐんまちゃんのダンス曲やアニメ OP 曲等を収録した CD「SWITCH！ -ぐんまちゃん SONG COLLECTION-」を制作・販売

④ ぐんまちゃん全国プロモーション実施

「ぐんまちゃん」の認知度を向上させるプロモーションをぐんまちゃん自身の PR とアニメ PR の 2 つの軸で展開して、前年度より認知度等を向上させた。

・「NRC 全国キャラクター調査」結果

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度
全国認知度	40%	44%
好感度	7	10

⑤ ぐんまちゃんお誕生日会

ぐんまちゃんが主催するファンイベントとして、「ぐんまちゃんお誕生日会」をオンラインで開催した。ゲストに県内外のキャラクターのほか、アニメ「ぐんまちゃん」出演の高橋花林さんらを招待して、ミニゲームやアニメ OP「SWITCH！」の歌唱、ぐんまちゃんダンスを披露した。

区 分	内 容
開 催 日 時	令和 4 年 2 月 13 日 (日) 午後 3 時～
配 信 方 法	tsulunos チャンネルにて無料配信 (公開後はアーカイブ保存)
再 生 回 数	17,870 回
ゲ ス ト	ゲストキャラ：ゆもみちゃん (草津温泉観光大使) くまモン (熊本県営業部長兼しあわせ部長) スペシャルゲスト：高橋花林 (声優・アーティスト) 出口たかし (保育アーティスト)

⑥ ぐんまちゃんの情報発信

ア ウェブサイト「ぐんまちゃんオフィシャルサイト」にぐんまちゃん関連の情報を集約・発信するとともに、アニメ公式ページを開設した。

イ ぐんまちゃん本人のSNSアカウントを運用して、全国に情報発信を行った。また、アニメとぐんまちゃん関連の公式情報を発信するために、新たに公式情報のTwitterアカウントを開設した。

区分	フォロワー数	備考
【Twitter】ぐんまちゃん	約 2.7 万人	
【Twitter】公式情報	約 8,600 人	
【Instagram】ぐんまちゃん	約 1.9 万人	インスタライブ 22 回実施

⑦ ぐんまちゃんのデザイン利用許諾

ぐんまちゃんのデザイン利用について、令和3年12月に、「デザイン利用許諾制度」を見直し、取扱要領及び利用の手引きを改正した。

- ・改正内容：全てのイラストを原作者作成のものに差し替え、
関連キャラクター・アニメイラストの有料利用開始など
- ・許諾件数：令和3年度 991 件（令和2年度 1,105 件／令和元年度 1,317 件）

⑧ ぐんまちゃんの著作権契約・権利保全

ア 関連キャラクター20体について、著作権の譲渡契約を原作者と締結した。

イ ぐんまちゃんの名称及びデザインの権利を守るため、商標登録期間（10年）の満期に伴い、国内商標の再登録（14区分）を行った。

ウ 関連キャラクター2体（あおま、みーみ）について、国内商標（14区分）及び中国商標（16区分）の登録を行った。

エ 関連キャラクター4体（古墳様、ハニワ族、三人童女、ヤヨイヒメ）について、国内商標（1区分）の出願を行い、うち2体（古墳様、ハニワ族）の登録を完了した。

(3) 広報活動

決算額 244,394 千円

県政に対する県民の理解を深めるため、広報紙・テレビ・ラジオ等を活用し、迅速かつ的確な県政情報の発信に努めるとともに、子どもや高齢者・障害者等にも配慮した、分かりやすい広報を積極的に行った。

区 分		事 業 量		事 業 費
刊行物	ぐ ん ま 広 報	609,000 部／回	1回	96,998 千円
		594,000	6	
		585,000	5	
	t s u l u n o s P L U S	年 4 回 発 行		4,060
		594,000 部／回	2	
		585,000	2	
	点 字 広 報	398部	12	2,377
	声 の 広 報	140本	12	350

区 分		事 業 量	事 業 費
テレビ	県 広 報 番 組 「ジャンポケロード」	30分番組 38回	86,347千円
	県政インフォメーション 群馬テレビ「ニュースジャスト6」内	番組内コーナー（1分30秒） 208	17,572
ラジオ	ぐんま情報トッピング	4分番組 209	14,489
	ワイグル P R E F	1分55秒番組 208	7,111
	コミュニティFM	814	8,939

(4) インターネット広報

決算額 34,251千円

① 動画・放送スタジオ運営

令和2年度に県庁32階展望フロアに開設した動画・放送スタジオ「tsulunos」を活用し、県民に県政情報を届ける動画や、国内外に県の魅力を発信する動画を制作、公開した。

また、新型コロナの感染予防やワクチン接種に関する動画を36本制作し、感染拡大の抑制に貢献した。

区 分	事 業 量	事 業 費
スタジオを活用した動画制作	動画本数 2,456本	5,153千円
	再生回数 6,288,187回	
新型コロナウイルス感染症 拡大防止緊急啓発特別番組 「Ask知事!」をライブ配信	配信回数 1回（4月28日）	
	再生回数 3,010 （アーカイブ再生含む3月31日時点）	

② 群馬県ホームページ運営

主としてインターネット情報通信技術の特長を生かした迅速で細かい情報提供を行うなどにより、県民の県政参加への関心を高めた。また、現在のホームページシステムが令和4年12月に運用期間を満了することから、次期システムの事業者を選定し、構築に着手した。

区 分	事 業 量	事 業 費
電 子 媒 体	県 ホーム ペ ー ジ 全体アクセス件数 約1億6,300万件	25,776千円
	県 ツ イ ッ タ ー フォロワー数 51,986人	
	県 LINE(群馬県デジタル窓口) 友だち数 737,868	3,300

(5) 記者室運営

決算額 6,503千円

記者会見や資料提供等により、報道機関に対する積極的な情報提供を行い、県民に対する情報発信を充実した。

区 分	事 業 量	事 業 費
記者会見	186件（県:120、その他:66）	6,503千円
資料提供	4,224（県:2,059、その他:2,165）	

3 デジタル化推進費

(1) デジタルトランスフォーメーション推進

決算額

74,304 千円

① ぐんまDX加速化プログラム策定

日本最先端クラスのデジタル県を目指し、様々な分野で自立的なDXの流れを作
ることを目的として、令和5年度末まで集中的に取り組む工程表「ぐんまDX加速化
プログラム」を令和3年11月に策定した。

「新・群馬県総合計画（ビジョン）」に掲げる19の政策分野で、チャレンジ事業
（55件）、ステップアップ事業（54件）の計109事業を実施し、全体の9割が予定
どおり又は前倒しで進行している。

② 地域課題解決プロジェクト

各分野の行政課題をデジタル技術により解決するための実証事業を実施した。

区分	事業内容	実証成果	事業費
障害者の社 会参画促進	障害を持つ方が自宅等か ら小型分身ロボット「Ori Hime」を遠隔操作する実 証事業を実施。	OriHimeの遠隔操作による接客 を県庁32階カフェ「YAMATOYA COFFEE32」で実施。企業（6 団体）や障害者、施設へ貸与 し、障害者の社会参画を検 証。特別支援学校（3校）に貸 し出して、利用可能性を模 索。	682千円
群馬デジタ ルイノベー ションチャ レンジ	子ども達のデジタルスキ ル等の向上を目指し、高 校等のデジタル関連部活 動に産業界の講師を派 遣。	県立太田工業高校において、 令和3年12月に初回の指導 及び令和4年2月～令和4年 3月にかけて随時、オンライ ン指導を実施（新型コロナウ イルスの感染拡大を踏まえた 対応）。	323
野生イノシ シ捕獲通報 措置の制 作・運用	CSF対策の一環として実 施している野生イノシシ 捕獲見回りの効率化を図 るため、捕獲通報装置を 製作、各市の捕獲担当者 へ配布、運用を支援。	令和3年11月中旬の猟期開始 までにシカ7頭、イノシシ7 頭を捕獲。	688
契約手続き の電子化	電子文書（PDF）と電子署 名を活用し、契約の締結 から文書保存まで、一連 の手続きを効率化する。	令和3年8月に一部所属で実 証実験を開始（5所属、8事業 者）。令和4年度から全庁で 検証。	

区分	事業内容	実証成果	事業費
温室効果ガス排出量の削減に係る手続きのオンライン化・自動化	温室効果ガス削減取組に関する、事業者から県への申請を高度化。	オンライン化・自動化を図ることで、職員業務を効率化(作業時間 86%削減)するとともに、各種データの可視化/分析を可能とした。	

③ 官民共創スペース運営・活用

令和2年12月に開設した官民共創スペースNETSUGENにおいて、会員数増加に向けた取り組みや、交流事業を行った。

区 分	実 績	事 業 費
会 員 数 の 状 況	月額法人会員 54 社 月額個人会員 36 人	60,857 千円
交 流 事 業 の 開 催	190 回	

④ NETSUGENアライアンス構築推進

NETSUGEN をハブとして、県内コワーキングスペースとワーケーション施設との連携を実施した。また、NETSUGENアライアンス+plus として、ワーケーション施設に県外月額会員が宿泊した場合に1泊につき5,000円の割引を受けられる制度を運用した。

区 分	実 績	事 業 費
連 携 施 設 の 状 況	コワーキング施設 11 か所 ワーケーション施設 7 施設	11,361 千円

4 業務プロセス改革費

(1) 業務改革推進

決算額 28,222 千円

① 行政改革推進

県行政改革大綱に基づき、県政のデジタル化推進や多様で柔軟な働き方の実現等に向けた行政改革の取組を行った。

『日本最先端クラスのデジタル県』を目指し、大綱におけるDXの取組を抽出した群馬県庁DXアクションプランに基づき、行政手続のオンライン化等に取り組んだ。

② ぐんま電子申請受付システム運用

行政手続の申請・届出等をインターネットを利用して行う「ぐんま電子申請等受付システム」を市町村と共同して運用した。

区 分	利 用 件 数
電 子 申 請 受 付 シ ス テ ム	209,250 件

(2) ICT活用推進

決算額 237,216 千円

① 社会保障・税番号制度推進

マイナンバー法の規定による情報連携を行うための情報システム（番号連携サーバー）の運用保守及びマイナンバーカードの取得促進の広報活動を行った（取得率 36.7%（令和3年度末現在））。

② 情報セキュリティ

職員の情報セキュリティに係る意識を高め、サイバー攻撃による情報漏えい等の被害を防止するため、研修やeラーニング（5,984人受講）、標的型攻撃メール訓練（約1,500人対象）を実施した。

また、高度なセキュリティ対策を行うため、県と市町村等38団体が、共同で群馬自治体情報セキュリティクラウドを運用した。

(3) デジタル基盤整備

決算額 1,704,845 千円

① 県庁情報通信ネットワーク運用管理

庁内各業務システムの通信インフラである県庁情報通信ネットワークの運用管理を行った。

また、次期県庁情報通信ネットワークについて、各地域機関における無線LAN配線工事やサーバ構築を開始した。

② コミュニケーションシステム運用管理

電子メールによる県内外との情報伝達の円滑化や、職員間の情報共有により、事務の効率化、迅速化を図るため、コミュニケーションシステムの運用保守を行った。

③ 庁内ネットワーク用パソコン等整備

職員が、群馬県庁情報通信ネットワークに接続し、文書、資料等の作成や、各種業務システムへのアクセスに使用する、行政事務用パソコン・プリンタの運用保守を行った。

④ テレワーク推進

多様な働き方の実現、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時や災害時の業務継続確保を図るため、県庁ネットワークに接続可能なモバイルルーターやグループウェアサービスの契約を行うなど、在宅勤務に対応できる環境を整備した。また、在宅勤務要領を策定し、毎月第3週を推進週間と定めて、在宅勤務を推進した。

⑤ 総務事務システム運用管理

給与・旅費、文書管理などの内部事務に係るコストを削減するため、総務事務システムの運用管理を行った。

また、次期総務事務システムの構築・運用保守に係る基本計画を策定し、これに基づき調達公告を行った。

⑥ 財務会計システム運用管理

歳出管理、予算編成、公有財産などの会計事務をつかさどる財務会計システムの運用管理を行った。

また、次期財務会計システムの構築・運用保守に係る調達仕様書を策定し、これに基づき調達公告を行った。

5 地域外交費

(1) 国際政策推進 決算額 32,525 千円

令和3年度は、知事のトップ外交によるハイレベルな人脈構築等の地域外交に
取り組み、本県の海外施策全体の底上げを図った。コロナ禍において海外への渡航
が制限される中でも、交流を絶やさず、オンラインとリアルでのトップ外交（ベト
ナム駐日大使とのオンライン会談、シンガポール駐日大使との会談等）を実施し、
中国やアメリカ、ASEAN地域との関係強化を図った。

(2) 上海事務所運営 決算額 15,351 千円

平成25年4月に開設した上海事務所において、現地における観光誘客促進・県
産品PR、企業のビジネス展開支援、本県情報の発信等を行った。

区 分	実 績
観光誘客促進（旅行社等訪問、来所相談、観光展出展）	79件
県産品PR（事業所等訪問、来所相談、物産展出展）	63件
企業のビジネス展開支援（県内企業訪問、来所相談）	26件
情報発信（ウェイボー）フォロワー数	58,791人

(3) 国際交流推進 決算額 214,007 千円

① 県民向け国際交流イベントの実施

コロナ禍に対応した、オンライン活用及びパネル等展示によるハイブリッド型
の国際交流イベントを県内の民間国際交流団体等と連携して実施し、県民の国際
理解促進及び県内在住の対象国関係者との関係構築を図った。

区 分	主な内容
台湾フェア in 群馬 (令和3年7月8日～ 7月14日)	台湾文化紹介、台湾料理紹介、群馬と台湾の交流の紹介 等。特別企画としてオードリー・タン大臣と知事とのオ ンライン対談、高校生とのトークセッションを実施。 ・来場及び視聴者数 延べ10,053人 (内訳) タン大臣オンライン対談 5,173人 台湾フェア Web 会場 3,616 県庁パネル展示会場 1,264
ぐんま・ベトナム交流 祭 (令和3年11月2日～ 11月4日)	県内在住ベトナム人による動画、ベトナムを紹介するパ ネル展、オンライン料理教室等を実施。 ・来場及び視聴者数 延べ2,725人 (内訳) 動画配信 1,146人 オンライン料理教室等 139 県庁パネル展示会場 1,440

② 海外県人会、海外ぐんまサポーターズとの連携

海外県人会等を群馬県の応援組織として委嘱し、現地の人脈づくりや情報収集等で協力をしてもらうことで、海外自治体や海外県人会等とのネットワーク構築を図った。

・県人会等の活動状況

区分	構成員数	主な活動
在伯群馬県人文化協会	76人	・移住者相互親睦、生活援護指導
在北伯群馬県人会	16	・移住者相互親睦、生活援護指導
在パラグアイ群馬県人会	103	・移住者相互親睦、生活援護指導 ・子弟支援事業に研修生受入
南加群馬県人会	72	・移住者相互親睦、生活援護指導
ハワイ群馬県人会	54	・移住者相互親睦、生活援護指導
フィリピン群馬会	73	・移住者相互親睦、生活援護指導
上海群馬県人会	90	・上海事務所に各種情報を提供
香港ぐんまサポーターズ	21	・会員間相互親睦
ハノイぐんまサポーターズ	10	・会員間相互親睦

③ 語学指導を行う海外青年招致（JETプログラム）

県及び市町村、私立学校等において国際交流員及び県内学校の英語指導助手（ALT）を受け入れ、本県地域レベルの国際交流推進と英語教育充実を図った。

・JETプログラム活動状況

区分	主な内容
英語指導	英語圏各国から来日した165人の英語指導助手が小学校、中学校、高等学校等で英語指導に従事した。
国際交流	各国から来日した5人の国際交流員が、自治体の国際業務（翻訳、通訳、住民向け語学講座、インバウンド観光PR等）に従事した。（配置先：県、前橋市、富岡市）

④ ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策

区分	主な内容
感染症対策	東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、国の交付金により県内のホストタウン及び事前キャンプ地における新型コロナウイルス感染症対策を実施した。 ・ホストタウン・事前キャンプ受入れ実績（選手団計173人） 前橋市（南スーダン、ベルギー） 高崎市（ポーランド、カタール、イスラエル） 太田市（オーストラリア、マラウイ）

(4) 旅券発給

決算額 13,292 千円

旅券法に基づき海外渡航に必要な一般旅券の作成・検査や旅券申請・交付の窓口である市町村旅券窓口業務の支援を行った。令和3年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により海外渡航の往来が制限されたため、旅券の申請数及び発行件数が令和2年よりさらに大幅に減少した。

・旅券申請件数 令和3年：4,647件、令和2年：12,741件、令和元年：49,351件

・旅券発行件数 令和3年：4,627件、令和2年：13,062件、令和元年：49,251件

男女別		有効期間別		
男	女	10年	5年	その他
2,575件	2,052件	3,199件	1,428件	件